

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入		事業実施主体	市
	事務事業	新都市交通システム導入検討事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者を始めとする交通弱者の利便性向上や環境負荷の軽減、中心市街地の活性化を図るため、人々が快適に移動することができる、BRTやLRTを始めとする新交通システム導入の可能性等について、学識経験者、交通事業者等で構成される「総合都市交通計画推進協議会」等において検討を行う。
-------	--

29年度概要	フィーダー系調査業務	7,200千円		
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	既存ストックの有効活用を踏まえ、公共交通機関の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回			3	3	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	施策に関する市民満足度（公共交通の利便性の向上）	%	目標値			21	22	23
			実績値			21		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各種施策・事業の推進を通じた、公共交通の利用に対する機運の醸成等により、「公共交通の利便性の向上」に係る市民満足度については、昨年度に比べ減少したものの、年度目標値は達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[千円]	2,952	3,071	7,151	9,503
（事業費）	[千円]			4,796	7,200
（職員人件費）	[千円]	2,952	3,071	2,355	2,303

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新交通システムの導入には道路空間の再編が不可欠であり、定時性や速達性を確保していくための、専用レーンの設置や市民意識の醸成など、乗り越えるべき課題がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

関係機関との連携により、調査検討を進める。「新交通システム導入検討チーム」による、LRT導入についてのレポートの考え方も参考として、本市にふさわしい新交通システムの在り方について、引き続き、検討を進めていく。